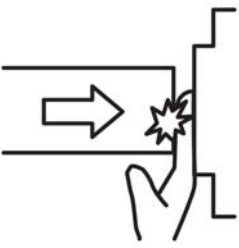
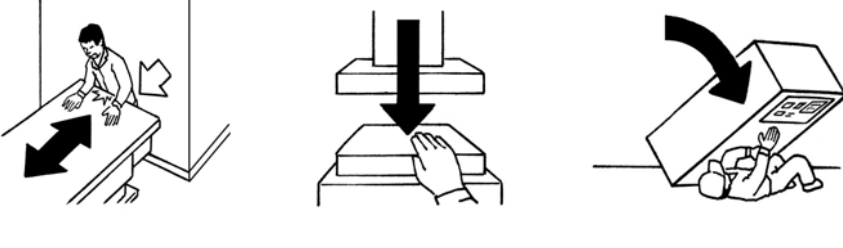
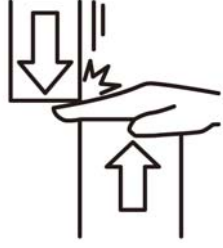
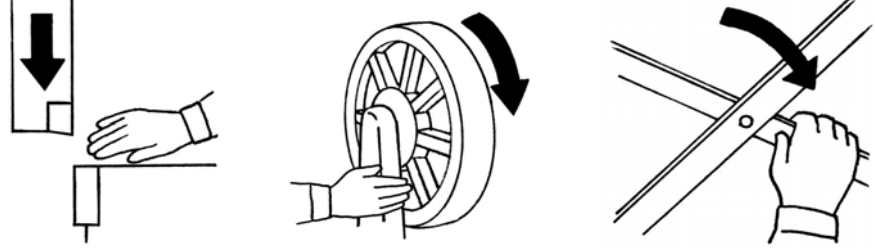


図 2 8 : 危険源の参考図 : 機械的危険源の具体例の図

1.1	押しつぶしの危険源	
基本図	具体例	
		

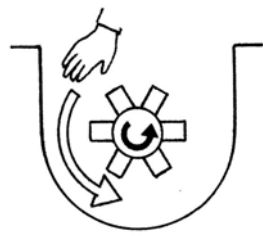
- ・押しつぶしは隙間が人体寸法より小さくなることで発生する。
- ・上図では挟む部分が一方向のみ動いているが、両側が動く場合もある。
- ・事故の型：分類番号「7」 項目「はさまれ、巻き込まれ」

1.2	せん断の危険源	
基本図	具体例	
		

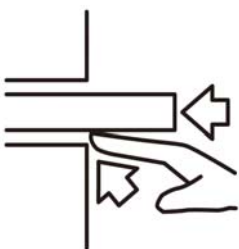
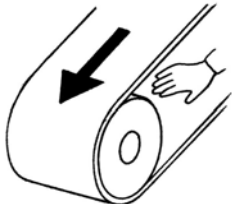
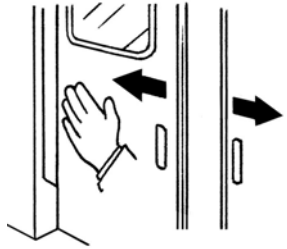
- ・せん断は狭い間隔で反対方向の力が働くことで発生する。
- ・押しつぶしより小さな力で人体に大きな影響を与えるので注意が必要。
- ・基本図のように反対方向の力が同時に働く場合と、一方向の力のみが働く場合がある。
- ・事故の型：分類番号「8」 項目「切れ、こすれ」

1.3	切傷又は切断の危険源	
基本図	具体例	
		

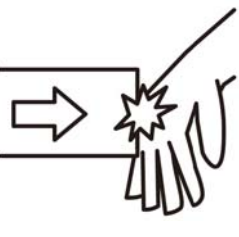
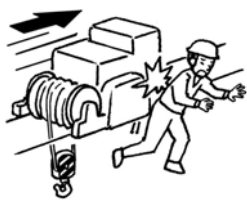
- ・面取りをしていない鋭利な部品の角、板金部品のバリ部分やボルトのねじ部などもこの危険源に含まれる。
- ・事故の型：分類番号「8」 項目「切れ、こすれ」

1.4	巻き込みの危険源	
基本図	具体例	
	 	

- ・回転体に人体の一部や衣服などが引っかかって巻き込まれる。
- ・事故の型：分類番号「7」 項目「はさまれ、巻き込まれ」

1.5	引き込み又は捕捉の危険源	
基本図	具体例	
	  	

- ・直線運動する部分から狭い隙間に引き込まれる。
- ・事故の型：分類番号「7」 項目「はさまれ、巻き込まれ」

1.6	衝撃の危険源	
基本図	具体例	
	  	

- ・人体に急激に伝わる力をいう。
- ・機械部品の落下・飛散もこの危険源の一つである。
- ・事故の型：分類番号「3」 項目「激突」
分類番号「6」 項目「激突され」